

令和6年度
事業報告書

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

(令和6年度事業報告書)

I 米沢市上杉博物館	・・・ 1 ページ
1 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化の継承と地域の魅力の発信	
2 豊かな感性を育み郷土を愛する人材の育成	
II 置賜文化ホール	・・・ 9 ページ
1 文化芸術活動の活性化と伝統芸能の継承	
III 米沢市座の文化伝承館	・・・ 11 ページ
1 伝統文化活動の支援	
IV 市立米沢図書館	・・・ 11 ページ
1 地域の情報拠点となる図書館づくり	
2 読書活動・生涯学習を支える図書館づくり	
3 こどもの未来を育む図書館づくり	
4 郷土資料を適切に保管し、次世代に伝える図書館づくり	
V よねざわ市民ギャラリー	・・・ 18 ページ
1 芸術・文化活動の活性化	
VI 連携と協働による事業の推進と適正な組織運営	・・・ 20 ページ
1 市民や地域の力を繋ぎ活かした事業の推進	
2 公益財団法人としての適正な組織運営と安全安心で開かれた施設利用	

令和6年度事業報告

米沢市上杉博物館

1 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化の継承と地域の魅力の発信

(事業の方針)

- ・上杉家や米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品等の収集と調査研究を体系的に進め、広く開かれた研究拠点施設を目指す
- ・地域の人々が郷土に誇りと愛着を持ち、地域の内外からの来館者の感動を呼ぶ魅力的な展示を行う
- ・文化財等の適正な保存・管理に努める

1-1 地域の資源等を活用した魅力的な展示による交流の促進

(1) 多様な地域資源の活用 (企画展示)

① 特別展「上杉茂憲 最後の藩主と米沢士族」

会期：前期：4月20日(土)～5月19日(日)/ 後期：5月25日(土)～6月23日(日) [60日間]

入場者数：12,129人

【関連事業】

区 分	演題・期日等	参加人数
講演会	演題：「大名華族と地域社会」 講師：宮間純一氏 (中央大学文学部教授) 期日：5月11日 (土)	85人
ギャラリートーク	期日：4月20日 (土)、5月11日 (土)、5月25日 (土)、 6月22日 (土)	135人
上杉伯爵邸・上杉城史苑との連携企画	タイムジャーニー上杉茂憲～邸宅と宝物～ 期間：4月26日 (金)～6月23日 (日) 内容：パネル展示、史蹟散策 (ファンクラブ事業)	史蹟散策参加者 29人
「刀剣乱舞 ONLINE」 コラボ企画	「五虎退」キャラクター等身大パネル展示及びグッズ販売	—

【評価】 (各項目4点満点)

協議会委員評価項目	評 点	内部評価項目	評 点
テーマの設定	4.0	内容(興味関心)	2.7
展示資料の点数・選定	4.0	ねらいが伝わる構成	3.0
解説のわかりやすさ	3.5	解説のわかりやすさ	3.2
会場設営(雰囲気づくり)	3.8	効果的な広報	3.0
総合評価	4.0	ショップ運営	3.0

② 企画展「KAGAYA 星空の世界展」

会期：6月29日 (土)～9月1日 (日) [63日間]

入場者数：12,572人 (中学生まで無料)

【関連事業】

区 分	演題・期日等	参加人数
特別記念講演会	演題：「KAGAYA 星空の世界」 講師：KAGAYA氏 期日：6月29日 (土)	120人

米沢市児童会館との連携企画	内容：星空スタンプラリー 期間：6月29日（土）～9月1日（日）	883人
	内容：ナイトツアー 期日：8月11日（日）、8月24日（土）	30人
	内容：プラネタリウム上映 上映回数：22回 「KAGAYAスタジオの全天映像7本」	—

【評価】（各項目4点満点）

協議会委員評価項目	評 点	内部評価項目	評 点
テーマの設定	4.0	内容(興味関心)	3.6
展示資料の点数・選定	4.0	ねらいが伝わる構成	3.6
解説のわかりやすさ	3.8	解説のわかりやすさ	2.7
会場設営(雰囲気づくり)	4.0	効果的な広報	3.1
総合評価	4.0	ショップ運営	3.4

③ 特別展「上杉氏と鷹と馬」

会期：前期：9月7日（土）～10月6日（日）/後期：10月12日（土）～11月10日（日）〔58日間〕

入場者数：13,295人

【関連事業】

区 分	演題等・期日	参加人数
講演会	演題：「徳川将軍と東北の馬・鷹」 講師：兼平賢治氏（東北学院大学文学部教授） 期日：9月14日（土）	75人
ギャラリートーク	期日：9月7日（土）、10月5日（土）、10月12日（土）、 11月9日（土）	122人
他施設等との連携企画	洛洛コーヒーゼリーを期間限定で販売。展覧会のチケット持参で50円割引。（上杉城史苑）	—

【評価】（各項目4点満点）

協議会委員評価項目	評 点	内部評価項目	評 点
テーマの設定	4.0	内容(興味関心)	2.6
展示資料の点数・選定	4.0	ねらいが伝わる構成	2.6
解説のわかりやすさ	4.0	解説のわかりやすさ	3.0
会場設営(雰囲気づくり)	4.0	効果的な広報	2.3
総合評価	4.0	ショップ運営	2.7

④ 企画展「椿貞雄と草土社の画家たち」

会期：11月23日（土）～1月13日（月・祝）〔40日間〕

入場者数：1,081人

【関連事業】

区 分	期日等	参加人数
コンサート	東彩子・荘村清志コンサート 期日：11月30日（土）	137人
博物館とホール事業の連携企画	「東彩子・荘村清志コンサート」の入場者は、椿貞雄展の入館料に団体割引を適用	102人
講演会	演題：「見えないものを描こうとした画家—椿貞雄の画業と遺産—」 講師：若松 英輔氏（批評家・椿貞雄作品蒐集家） 期日：12月7日（土）	54人

ナイトツアー	ようこそ夜の博物館へ「椿貞雄となかまたち」 期日：12月6日（金）	5人
ワークショップ	立体切り絵で椿の花をつくろう 期日：12月14日（日）	8人
ギャラリートーク	期日：11月23日（土）	32人

【評価】（各項目4点満点）

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	4.0	内容（興味関心）	2.5
展示資料の点数・選定	4.0	ねらいが伝わる構成	2.9
解説のわかりやすさ	4.0	解説のわかりやすさ	2.9
会場設営（雰囲気づくり）	4.0	効果的な広報	2.4
総合評価	4.0	ショップ運営	2.6

⑤ コレクション展「新収蔵品展 米沢・上杉の歴史と文化」

会期：2月8日（土）～3月23日（日）〔38日間〕

入場者数：3,979人

【関連事業】

区分	期日	参加人数
ギャラリートーク	期日：2月8日（土）、3月15日（土）	52人

【評価】（各項目4点満点）

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	3.9	内容（興味関心）	3.1
展示資料の点数・選定	3.5	ねらいが伝わる構成	2.9
解説のわかりやすさ	3.9	解説のわかりやすさ	3.1
会場設営（雰囲気づくり）	3.9	効果的な広報	3.1
総合評価	3.8	ショップ運営	3.0

(2) 上杉氏にまつわる地域資源の活用（常設展示）

- ① 「長尾上杉氏の北陸侵攻」を年間テーマに、上杉文華館で国宝「上杉家文書」を読み解く展示を12本の小テーマで開催した（上杉家文書は約1ヶ月ごとに展示替）。

小テーマ	期間	コレクショントーク
長尾為景の越中侵攻	3月26日（火）～4月23日（火）	3月31日 参加者数11人
能登畠山氏と長尾為景	4月25日（木）～5月21日（火）	4月28日 参加者数18人
長尾為景の越中平定	5月23日（木）～6月25日（火）	5月26日 参加者数18人
長尾為景と一向一揆	6月27日（木）～7月23日（火）	6月30日 参加者数11人
謙信の越中出馬と川中島合戦	7月25日（木）～8月27日（火）	7月28日 参加者数17人
越相同盟の成立と北陸情勢	8月29日（木）～9月24日（火）	9月1日 参加者数20人
一向一揆との攻防	9月26日（木）～10月22日（火）	9月29日 参加者数20人
謙信の越中西進	10月24日（木）～11月26日（火）	10月27日 参加者数25人
本願寺との和睦、信長との断交	11月28日（木）～12月22日（日）	12月1日 参加者数16人
謙信、能登平定	12月24日（火）～1月26日（日）	1月5日 参加者数20人
上杉景勝の台頭	1月28日（火）～2月24日（月・祝）	2月2日 参加者数20人
本能寺の変と北陸情勢	2月26日（水）～3月23日（日）	3月2日 参加者数20人

② 国宝「上杉本洛中洛外図屏風」(原本)の展示

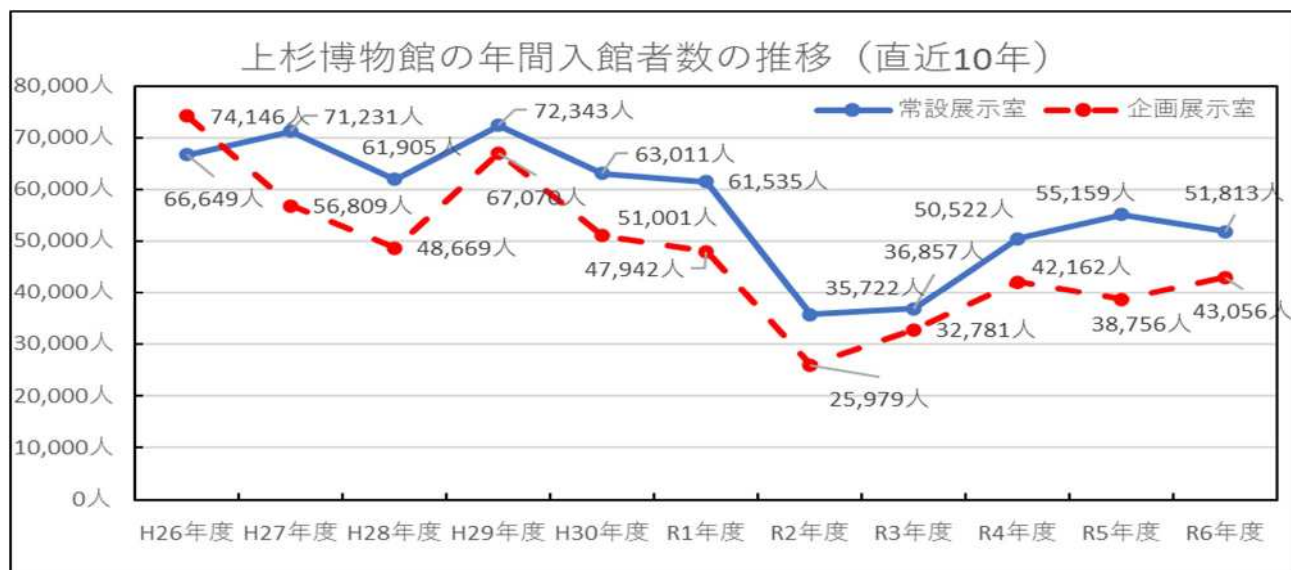
期 間	展示場所	備 考
4月20日(土)～5月19日(日)	上杉文華館	特別展「上杉茂憲 最後の藩主と米沢士族」(前期)
10月12日(土)～11月10日(日)	企画展示室	特別展「上杉氏と鷹と馬」(後期)

③ 常設展入館者累計200万人達成

期日：令和7年1月3日(金)



200万人目の御家族(千葉県松戸市より来館)と館長



④ 博物館における図書館カード利用割引7件

(3) 次年度以降の展示計画等に関する調査研究の推進

令和7年度以降の企画展開催に向けた調査研究を進めた。

① 歴史関係

- ・令和7年度特別展「上杉家の御殿」に関する調査
- ・令和7年度特別展「上杉家の祈りと信仰」(仮)に関する調査
- ・令和8年度特別展「学都 米沢」(仮称)に関する学校資料の調査 ほか

② 美術関係

- ・伊東忠太展に向けた調査
- ・洛中洛外図に関する調査 ほか

1-2 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化等の調査研究と資料の収集・保管・管理

(1) 資料収集、調査研究の実施と成果の公表

米沢市上杉博物館資料収集基本方針及び内規に基づき、収蔵資料の充実を図った。また、収集した資料の調査研究を計画的に進めた。

- ・資料収集検討会議
- ・新規受入資料

区 分	件数・点数	主な品目
購 入	2 件（4 点）	「松竹 竹に雀紋長柄湯桶」
寄 贈	16 件（約 3,000 点）	「村山家文書」、福王寺法林「富士図」
寄 託	1 件（1 点）	「太刀 銘長光 附 糸巻太刀拵」

① 歴史関連資料の収集・調査

寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成と、米沢藩及び上杉家ゆかりの資料をはじめとした郷土ゆかりの資料の追跡・発掘調査を行った。

調査研究の推進にあたっては、市民、地域の博物館、教育機関、大学、研究機関等との連携、交流を図りながら、情報の集積や人的ネットワークを構築することに努めた。

- ・展示予定資料の解説（国宝「上杉家文書」他）
- ・寄託資料概要調査及び受入済資料の整理、調査の充実
- ・資料収集に関わる個人所蔵資料等の新資料の調査
- ・上杉文書の調査・目録作成（継続）

② 美術関連資料の収集・調査

近親者の高齢化などにより急を要する郷土出身作家の基礎調査を継続した。現在活躍中の郷土出身作家についても情報を収集した。あわせて近年本年度以降に開催を計画している展覧会の出展予定資料の調査も行った。

- ・郷土作家（物故）に関する調査
- ・上杉本洛中洛外図屏風に関する情報の収集と整理
- ・椿貞雄展に向けた調査
- ・上杉家伝来能楽資料に関する調査
- ・現存作家に関する情報収集
- ・作品収集のための調査

(2) 市民等の学びなどの支援機能の発揮

① レファレンス対応

収蔵資料、展覧会関連資料、置賜地域の歴史・芸術などにかかわる質問への回答を通して、市民の学習と活動の機会を提供した。

- ・レファレンス件数（調査を必要とするもの） 58 件

② 情報ライブラリーの展開

収蔵図書や映像、デジタルコンテンツを配置・拡充して利用者に供するとともに、展示や館の活動に関する質問対応、地域学習の素材や方法論の提供等の参考業務を行った。

(3) 資料整理・管理の推進

① 資料の整理・保管

計画的な資料の整理を行い、完了した情報の収蔵文化財総合データベースでの公開に向けた準備作業を行った。未受入資料の受入作業（資料の受入有無確認、クリーニング、整理、登録、ラベリング収納）、新規受入資料のデジタル化（資料情報、写真）、収蔵資料の写真撮影等を進め、管理体制を整えた。

新規受入資料	5件 (21点)
デジタル化	2件 (300点)
写真撮影	3件 (78点)

- ・上杉文書の再整理 (継続)
- ・浜田浜雄関連資料の整理 (継続)
- ・桜井祐一関連資料の整理 (継続)
- ・椿貞雄関連資料の整理 (継続)
- ・後藤克芳関連資料の整理 (継続)
- ・椿夏子型紙資料の整理 (継続)
- ・鈴木秀男氏所蔵資料の整理 (新規)
- ・泉崎家文書の整備 (新規)
- ・太田家資料の整理

② 収蔵文化財総合データベースの充実

収蔵文化財総合データベースシステムの改修を行った。データベース公開件数 8,859件

③ 資料の修理・手入れ

収蔵資料の点検・修理等を適切に実施した。

館蔵及び寄託刀剣については、定期的に手入れを実施した。

資 料	修繕内容
上杉家文書秩	秩を新調
A2018-032-02 福王寺法林「かりん」	額縁新調
A1999-058-021 刀 備前国住長船 (以下切)	研磨・鍔修理・白鞘新調
A2022-005-02 雲井龍雄漢詩「死不畏死…」他5幅	軸先の補充、保存箱の新調

④ 収蔵・展示環境整備

IPM (総合有害生物管理) や空気環境の監視を継続した。また、設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、より良い博物館展示・保存環境の維持・保全に努めた。

項 目	実施時期等
定期的な空気環境簡易調査 (収蔵庫・展示室) 粘着トラップの設置	4・6・8・10・12月
専門業者による空気環境調査 (浮遊菌)	1回 (10月19日)
資料の燻蒸	9月11日～13日
一般、特別収蔵庫・一時保管庫・写真室のクリーニング	月2回
エリア区分による段階的管理、防塵・防虫粘着マット設置 (増設)、収蔵資料のコンディションチェック	常時
作品のクリーニング、展示ケース内アートソープ入替え	随時

2 豊かな感性を育み郷土を愛する人材の育成

(事業の方針)

- ・学校の学習活動の支援し、学社連携を推進する
- ・生涯学習施設であり地域の交流拠点として、上杉氏をはじめとする地域の歴史や文化芸術への理解を深めるとともに、日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、地域の人々に学習と活動の機会を提供する

2-1 地域の生涯学習及び学校教育における学習活動の支援

(1) 教育事業

地域の歴史・文化や民俗・風習、美術・工芸、伝統的な手わざの理解と継承・普及のための体験プログラムを提供した。歴史や美術の体験学習を通して子どもの個性や地域の文化を尊重し合う意識

を育て、「生きる力」や「想像力」を育む事業を展開した。

① 常設プレイショッップの展開

季節企画では、季節の風物を置賜の民俗風習と絡めながら紹介した。造形体験では、様々な素材や技法に触れることのできる幅広いプログラムを提供した。

季節企画	造形体験プログラム	期 間	参加人数
日本の伝統色①	くるくる・ぐるぐる・ぺったり・きらきら～いろんなかみで～	～4月23日(火)	375人
端午の節句	切り絵のステンドグラス	4月26日(金)～5月21日(火)	651人
日本の伝統色②	紙粘土で夏の和菓子	5月24日(金)～6月25日(火)	482人
七夕	スクラッチで宇宙を描こう	6月28日(金)～7月23日(火)	522人
盂蘭盆会	折ってぼたぼた紙のおりぞめ	7月26日(金)～8月21日(水)	779人
重陽の節句	波段ボールでつくろう	8月23日(金)～9月24日(火)	610人
お月見	日本画に挑戦！	9月27日(金)～10月22日(火)	413人
七五三	ハニカムシートでつくろう	10月25日(金)～11月26日(火)	397人
冬至・お年とり	紙の獅子舞づくり	11月29日(金)～12月18日(水)	161人
お正月・小正月 干支の郷土玩具	紙でつくるいろいろもの いれ	12月20日(金)～22(日) 1月2日(木)～22日(水)	240人
節分	紙で作るおひなさま	1月24日(金)～2月26日(水)	309人
桃の節句	スパッタリング	2月28日(金) ～3月26日(水)	369人
その他体験学習室の利用			2,039人
合 計			7,347人

② ワークショッップの開催

五感や身体感覚を使うプログラムや博物館の特徴を活かしたプログラムの開発と展開を行った。

ア 募集制プログラム

区 分	企 画	期 日	対 象	参加人数
つくろう！ みつけよう！ “つくる”ことをテーマに 参加者の発想をかたちに するワークショッップ	色とあそぼう	5月26日(日)	未就学児	3人
	夏のカラーハンティング	7月6日(土)	小学生以上	5人
	レジンで天の川のペンダントをつくろう	7月27日(土)	小学生以上	19人
	紅花のふしぎ～ハンカチを染めよう～	7月28日(日)	小学生以上	11人
	季節の花で楽しむバンドルダイ	6月2日(日)	小中学生・親子	3人
	日本画をたのしもう 岩絵具のふしぎ	10月12日(土)	小学生以上	15人
	立体切り絵で椿の花をつくろう	12月14日(土)	小学生以上	8人
	おとなハニカムペーパークラフト	2月16日(土)	小学生以上	4人
鑑賞 ^{とき} の時間 ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ	洛中洛外図をたのしむ	5月10日(金)	どなたでも	16人
	宇宙へのとびら 星空の世界①	8月11日(日)	どなたでも	14人
	宇宙へのとびら 星空の世界②	8月24日(土)	どなたでも	16人
	洛中洛外をたのしむ	10月18日(金)	どなたでも	12人
	椿貞雄となかまたち	12月6日(金)	どなたでも	5人

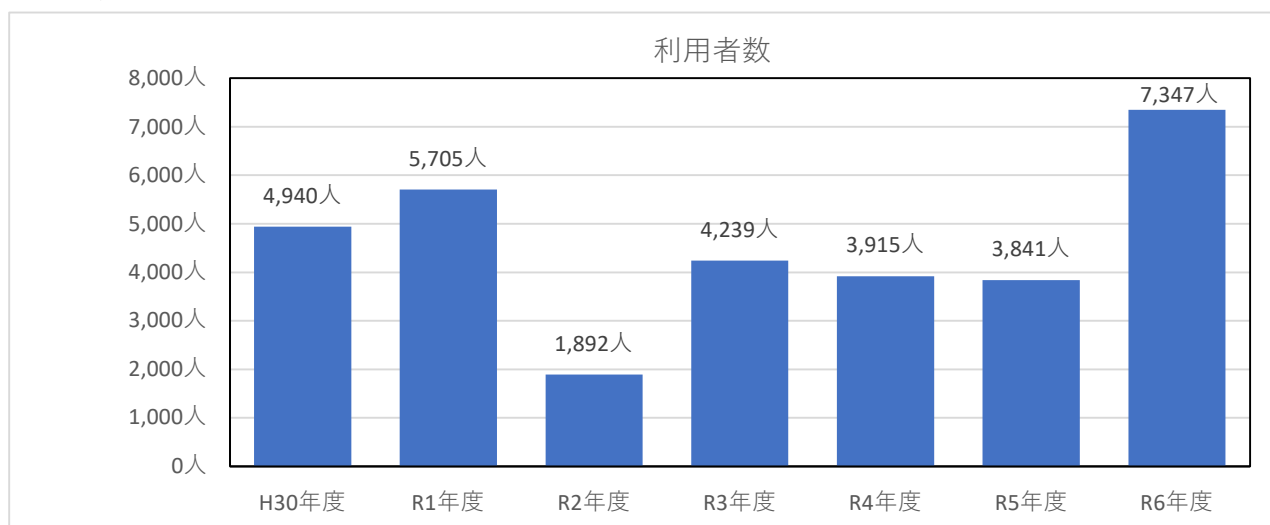
体感ミュージアム～博物館のすべて～	きみもチルドレンキュレーターズ～学芸員になろう20～	年間12回	小学4年生～高校生	12人
	だれもしらない博物館～博物館バックヤードツアー～	11月3日(日祝)	どなたでも	5人
合 計				148人

アウトリーチ(学校・幼稚園・保育園・学童保育・コミセンやPTA親子事業等への出前ワークショップ)

イ 自由参加制プログラム

企 画	期 日	参加人数
むかしむかしを聞こう	6月8日(土)	125人
語り：米沢とんとむかしの会(伝国の杜事業協力者)	10月5日(土)	

体験学習室(プレイショップ)利用者数の推移



(2) 博物館活動の広報PRの推進

① 図録等の出版

令和5年度 博物館年報	Vol. 36 (8月)
伝国の杜だより	Vol. 46 (9月) Vol. 47 (3月)
展覧会図録	特別展「上杉茂憲 最後の藩主と米沢士族」 特別展「上杉氏と鷹と馬」 企画展「椿貞雄と草土社の画家たち 草のささやき 土のかほり」
教育普及事業ミュゼデュウだより	年間スケジュール号(4月) 下半期号(9月)

② 情報ライブラリーの更新

常設展、企画展を補完する米沢の歴史・民俗・文化等の映像ソフトを制作し、情報ライブラリー「おきたまたまてばこ」での提供を行った。

・新規映像の制作 「上杉家の御殿」(令和7年度春の特別展)

(3) 展示会内容への理解を深め魅力を伝える活動、展示会の充実

① 講演会・トークイベント(ギャラリートーク・コレクショントーク)

企画展・特別展に併せて講演会やシンポジウムのほか、展示内容等の解説を開催した。(別掲)

(4) 地域・学校との連携の推進

① 学校の利用促進

ミュージアムスクールや出前授業等により、博物館を活用した学習機会の提供と支援を行った。

ミュージアムスクール	減免を伴う置賜地域の学校利用 17件 人数802人 ※学芸員が参加したミュージアムスクール 4件
出前授業	小学校4校、中学校0校、高校1校 芸術の杜事業1件、コミュニティーセンター1件 合計116人
その他の連携・支援事業	鶴見大学文学部文化財学科 展示・バックヤード見学 62人

② 博物館実習、職業体験の受け入れ

博物館実習やインターンシップなどの職業体験で生徒、学生の受け入れを行い、博物館の仕事や役割を体感してもらうことで、博物館の社会的役割の理解者を増やし、未来の来館者へとつなげた。

博物館実習	1人（東北芸術工科大学）
YCW	6人（米沢一中、三中、四中、五中、六中）

③ 児童・生徒の利用促進

・小中学生の入館料無料の展覧会の開催 「KAGAYA星空の世界展」入館者数1,483人

2-2 資源の活用と連携

(1) 美術作品等の鑑賞機会の拡大

年に数回収蔵の美術作品を市内の学校や公共施設に貸し出し、博物館以外で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくった。

4箇所（市役所、市内小学校3校（上郷小、松川小、興譲小）） 10点

(2) 資料の公益利用の推進

特別利用・掲載利用・資料貸与 条例等の基準に照らし、適正に許諾・貸出を行った。

特別利用	掲載利用	資料貸与	合 計
24件	258件	8件	290件

置賜文化ホール

1 文化芸術活動の活性化と伝統芸能の継承

（事業の方針）

- ・様々な舞台芸術に親しむ機会が増え、地域の人々が潤いとゆとりを感じて心豊かに暮らせるよう、ホールの特性を活かした公演等を実施する
- ・多様な活動主体による芸術活動が盛んになり、地域の文化・芸術活動の活性化が図られるよう、施設の利用促進を図る
- ・地域の伝統芸能への理解を深め、伝統文化を継承する

1-1 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会の提供

(1) 舞台芸術の鑑賞機会の創出

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する事業を実施した。（米沢市共催事業）

また、寄附金を活用し、地域子ども達に芸術鑑賞の機会を提供した。2事業 56人

公 演	期 日	入場者数
PRO WiND 023 米沢公演	5月6日（月祝）	307人
夫婦印プロデュース「満月～平成親馬鹿物語～（改訂版）」	8月17日（土）	202人
吹奏楽の日コンサート2024	10月14日（月祝）	1,523人
春風亭昇太・柳家三三 落語二人会	11月6日（水）	254人
山形交響楽団ユアタウンコンサート2024 米沢公演	1月13日（月祝）	489人

(2) 地域の芸術活動家の育成

置賜地域の文化拠点施設として、アマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供することにより、地域の文化向上とホールの賑わい創出を図った。（山形県補助事業）

事 業	内 容	期日・回数	人 数
アマチュア文化支援事業	楽器講習会	講習回数 70回	受講者 9人
	楽器クリニックコンサート vol.3	2月16日（日）	入場者 112人

1-2 能舞台を活用した伝統芸能の継承・普及

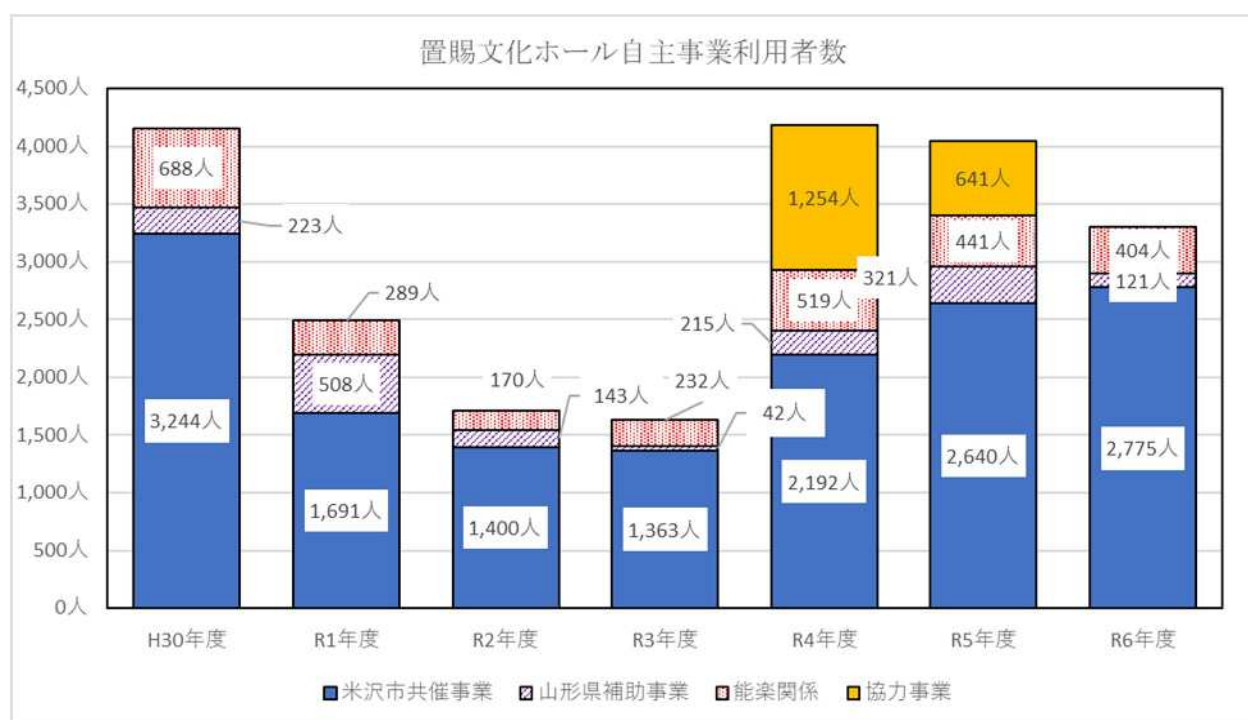
移動式能舞台を活かして利用者が能楽に触れる機会を提供し、伝統芸能の普及に努めた。

(1) 伝統文化に親しむ機会の創出（山形県補助事業）

公演・事業	期 日	入場者数
伝国の杜能狂言公演	9月7日（土）	208人
能楽の祭典	9月8日（日）	119人

(2) 次世代への伝統文化の継承

項 目	回数・期日	入場者数
こども狂言クラブ運営事業 ・稽古（狂言指導者派遣） ・催事出演（上杉まつり、国際ソロプチミスト米沢認証40周年行事、国際キャンプ in 米沢、能楽の祭典、置賜こども芸術祭、上杉雪灯籠まつり） ・こども狂言クラブ春休み発表会	稽古 9回 催事出演 7回 3月20日（木祝）	受講者12人 65人



米沢市座の文化伝承館

1 伝統文化活動の支援

(事業の方針)

- ・地域の人々等が伝統文化を気軽に体験できる機会を提供し、次世代への継承と普及を図る

1-1 伝統文化の普及促進

(1) 自主事業

本格的な数寄屋づくりの茶室を活かし、米沢茶道連合会と連携して日本文化のひとつである茶道に気軽に親しむことのできる機会を提供することで茶道の普及を図った。

企 画	期 日	入場者数
第32回市民茶会	6月16日(日)	169人

(2) 貸館事業

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を活かした「座って行う日本文化」の一つの活動拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与した。



1-2 歴史・芸術・文化の情報発信

(1) 自主事業 (展示)

地域の歴史・文化を紹介する展示を実施した。

展覧会	期 間	入場者数
河童洞コレクション みちのくのこけし	5月15日(水)～5月27日(月) [開催日数: 12日]	215人

市立米沢図書館

1 地域の情報拠点となる図書館づくり

(事業の方針)

- ・地域の情報拠点としての機能の充実を図り、市民等の多様なニーズに対応する資料及び情報の収集・整理・保存・提供を通して課題解決を支援する

1-1 資料や情報の収集・整理・保存

(1) 資料や情報の収集の推進

市立米沢図書館資料収集方針や選定基準、受入基準等に基づき、図書館資料の充実を図った。購入、寄贈及び寄託については、基準に則って良質な図書館資料の選書・選定に努めた。

区 分	購 入	寄贈・寄託	合 計	年度末蔵書数
一 般 書	6,310点	232点	6,542点	174,794点
児 童 書	3,659点	56点	3,715点	71,755点
郷 土 資 料	174点	266点	440点	82,581点
DVD・CD	31点	3点	34点	2,940点
合 計	10,174点	557点	10,731点	332,070点

・選書会議を月1回休館日に開催

(2) 所蔵資料の適正な管理の推進

① 排架と整理

1点ごとの資料データを集積し適正な排架に努め、資料が適切な状態で貸出を行えるよう、点検・修理等と随時整理を行った。

② 蔵書点検

誤排架を正し、不明資料の所在や現況を調査し、適切な資料管理を行った。

区分	期 間	実施結果
本館	1月31日（金）～2月6日（木）	不明資料19点
BM	10月7日（月）～10月8日（火）	不明資料 1点

③ 除籍

利用価値の喪失や亡失、汚破損、重複等で不用となった資料の除籍と廃棄を実施し、常に新鮮かつ適正な蔵書の構成を維持した。

区 分		点数・対象期間
図書、雑誌、AV資料		9,450点
新 聞	河北新報	令和3年4月1日～令和4年3月31日分
	毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日経新聞、毎日小学生新聞	令和4年4月1日～令和5年3月31日分
	スポーツ報知、日刊スポーツ	令和5年4月1日～令和6年3月31日分

1-2 利用者のニーズに対応したサービスの実施

(1) 図書及び図書館所蔵資料の貸出・閲覧の充実

① 貸出・閲覧

本館での貸出や閲覧の他、70カ所の公共施設、教育施設、福祉施設等を自動車文庫車「アタゴオル」で巡回して貸出を行った。

区 分	本 館	アタゴオル	合 計
一 般 書	200,356冊	13,222冊	213,578冊
児 童 書	109,486冊	19,506冊	128,992冊
郷 土 資 料	3,670冊	1冊	3,671冊
雑 誌	15,029冊	11冊	15,040冊
DVD・CD	6,224点	0点	6,224点
合 計	334,765冊・点	32,740冊・点	367,505冊・点
延べ利用者数	100,464人	2,114人	102,578人

・相互貸借利用件数 貸出463冊、借受366冊／157人

② 予約・リクエストへの対応

所蔵資料の予約サービスによる貸出のほか、未所蔵の資料へのリクエストについては、購入または相互貸借制度を活用して他館から借用するなど、利用者の要望に応じて資料を提供した。

・予約・リクエスト件数 21,514件

③ 複写サービスの提供

著作権法の範囲内での資料の複写サービス及び複写資料の郵送サービスを行った。

・複写件数 9,043件（うち郷土資料 郵送複写36件、マイクロ複写18件）

④ 特別利用・掲載許可・撮影

条例等の基準に照らし、適正に許諾・貸出を行った。

区 分	件数・点数	
古文書・古典籍の閲覧	45件	599点
古文書・古典籍の撮影	41件	372点
古文書・古典籍の貸出	2件	19点
その他の特別利用（禁帯本等）	7件	12点
資料の掲載及び写真貸与	30件	86点

(2) 情報サービスの提供

① レファレンスへの対応

利用者の調査相談に、収蔵資料、インターネット情報等を用いて対応し、必要情報や資料の検索、提供を行った。また、収蔵資料や展示資料等についての質問にも答え、特に郷土米沢に関する質問については、特設のレファレンスカウンター（郷土資料調査相談）にて対応した。

区 分	件 数
一般（カウンター対応）	126件
郷土資料（調査を要する依頼）	152件

② データベース機能の活用

新聞記事・経済情報・音楽配信等に関する有料データベースのほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」機能を提供し、利用者の調査研究や課題解決をサポートした。

③ 暮らしに役立つ情報コーナーの設置

1階オープンスペースにて、米沢市やその他機関と連携し、利用者の生活に資する情報の掲示及び資料配布を行った。

内 容	期 間
食育に関する展示（米沢市健康課）	5月31日（金）～6月28日（金）
相続登記申請義務化・自筆証書遺言書保管制度に関する展示（山形地方法務局米沢支局）	7月31日（水）～8月30日（金）
世界アルツハイマーデー、世界アルツハイマー月間に関する展示（米沢市高齢福祉課）	9月19日（木）～9月25日（水）
ゲートキーパー、自殺対策強化月間に関する展示（米沢市健康課）	3月5日（水）～3月28日（金）

(3) ユニバーサルサービスの向上

① 自動車文庫による図書資料の貸出（再掲）

公共施設、教育施設、福祉施設等を自動車文庫車「アタゴオル」で巡回し、来館が困難な方を含

め広く市民へ図書館サービスを提供した。

配本箇所	70箇所（新規2箇所、再開1箇所、廃止1箇所）
貸出冊数	32,740冊
利用者数	2,114人

② ハンディキャップサービス

高齢者や障がい者を主な利用対象とした大活字本やLLブック等の資料の収集を行った。

- ・大活字本の新規排架 70冊
- ・「りんごの棚」（バリアフリーに配慮した図書）の新規排架 6冊
- ・リーディングトラッカー（読書補助具）の製作と配布

(4) 情報の発信

① 出版

図書館だより（年間4回）	4月・7月・10月・1月
市立米沢図書館概要	7月発行
郷土資料調査報告書（南部地区）	3月刊行

2 読書活動・生涯学習を支える図書館づくり

（事業の方針）

- ・読書の楽しさを広げる活動を推進するとともに、社会教育施設として市民の生涯学習を支援し、交流活動の機会を提供する

2-1 生涯学習の支援及び交流活動の提供

(1) 郷土資料や歴史に関する学びの機会の提供

【第39回 ふるさと歴史講座】

演 題	講 師	期 日	受講人数
甘粕春女の「塵塚日記」から見る幕末の武家の生活	青木昭博（副館長）	10月6日（日）	28人
米沢藩上杉家を支えた奥女中―12代斉憲の時代を中心に―	菊池慶子氏 （東北学院大学研究員）	10月20日（日）	32人
橋本主税の戊辰戦争	宮澤崇士（郷土資料担当）	10月27日（日）	26人

【第68回 古文書解説講座】

演 題	講 師	期 日	受講人数
享和元年 村山一揆の記録を読む	宮澤崇士（郷土資料担当）	11月24日（日）	21人
置賜地方の近世文書を読む	小林文雄氏 （米沢女子短期大学教授）	12月1日（日）	19人
豊臣政権を上杉景勝	阿部哲人 （米沢市上杉博物館学芸員）	12月8日（日）	20人

【第35回 文学講座】

演 題	講 師	期 日	受講人数
井上ひさしと米沢	井上恒氏（遅筆堂文庫研究員）	2月9日（日）	18人
浜田広介の生涯と作品	古畑茉莉子氏 （浜田広介記念館学芸員）	2月16日（日）	21人

浜田広介の世界 —童話「泣いた赤おに」の形成—	樋口隆氏 (元浜田広介記念館館長)	3月23日(日)	27人
----------------------------	----------------------	----------	-----

(2) 交流活動の機会の提供

英語に親しみ、英語多読の手法を身に着ける「英語多読講座」や、参加者同士が互いに本について語り交流する「読書会」など、利用者が一層本に親しみ、本を介して交流することができる場を提供した。

【ナセBA英語多読】

区 分		期日・講師	参加者数
英語多読サロン		4月28日(日)、6月22日(土)、 8月24日(土)、10月26日(土)、 12月14日(土)、2月22日(土)	延べ69人
英語多読講座	絵本から始めよう！英語 多読ビギナー講座	期日：5月12日(日) 講師：酒井邦秀氏(NPO多言語多読理事)	23人
	英語多読ワークショップ ～絵本から英会話へ～	期日：9月28日(土) 講師：酒井邦秀氏(NPO多言語多読理事)	9人
	英語で遊ぼう！～おうち えいごのススメ～	期日：7月27日(土) 講師：吉澤恭子氏	親子9組
		期日：11月23日(土) 講師：吉澤恭子氏	親子11組

【読書会】(講座として実施) 講師：舟山康子(図書担当・絵本専門士)

内 容		期 日	参加者数
第14回	絵本専門士によるはじめての読み聞かせ講座	10月27日(日)	14人
第15回	絵本専門士による大人のための絵本講座	1月26日(日)	31人
第16回	絵本専門士による大人のための絵本講座・昔話編 ゲスト：米沢とんと昔の会 (※関連企画 米沢とんと昔の会による昔語り)	3月29日(土)	45人

2-2 読書の楽しみを広げる活動の推進

(1) 図書館への来館機会の創出

2024読書週間図書館フェア 開催期間：10月25日(金)～11月4日(月)

企 画	期日・期間	参加者数等
絵本専門士によるはじめての読み聞かせ講座	10月27日(日)	14人
ナイトバックヤードツアー	11月1日(金)	10人
早めの準備で安心を！相続と遺言講座	11月2日(土)	16人
本のフィルムコート体験	11月3日(日)	6人
本と雑誌のリサイクル市	10月25日(金)～11月4日(月)	利用者446人
本と雑誌の付録抽選会		応募者161人
特集コーナー「一文字BOOKS」	10月25日(金)～11月27日(水)	貸出数139冊
図書館×謎解きラリー	10月25日(金)～11月27日(水)	参加者203人

(2) 特集コーナー(一般資料・児童資料)の設置

季節行事や社会情勢に関するテーマの資料を取り上げ紹介することで、図書館利用者へ新たな気づきを促し、資料の貸出増加へ繋げた。また、先人顕彰コーナーの展示や米沢市上杉博物館、置賜文化ホールの実業等の関連資料を積極的に紹介した。

・一般書コーナー53回、児童書コーナー31回

3 こどもの未来を育む図書館づくり

(事業の方針)

- ・米沢市子ども読書活動推進計画(第2期)に基づき、社会の未来を担う子どもたちの読書活動を関係機関と連携して積極的に推進する

3-1 子どもの読書活動の推進

「ブックスタート」や「おはなしかい」を通して乳幼児期から本に親しむ機会を提供するほか、市内小学校図書館部会や市内各種団体等と連携して「ナセBAうちどくスタンプラリー」を実施し、子どもの図書館の利用促進を図った。

(1) 読書活動の推進

区分	主な対象	実施者	会場	回数	参加者数
ブックスタート	7か月児と保護者	職員、サポーター	7か月児健康教室	18回	親子355組
おはなしかい	乳幼児～小学生と保護者等	職員、サポーター、サークル夢空間	おはなしのへや、EVホール等	36回	466人
出張おはなしかい		職員	もくいくひろば、くても	24回	243人

・小学校巡回文庫

(配本)	(回収)	配本箇所	配本冊数
4月17日(水) 9月11日(水) 11月27日(水)	7月10日(水) 11月8日(金) 3月5日(水)	市内小学校14校	延べ6,300冊

・2024夏休み子ども図書館フェア 開催期間：7月26日(金)～8月12日(月・振)

企画	期日・期間	参加者数等
英語で遊ぼう！～おうちえいごのススメ～	7月27日(土)	親子9組
読み聞かせボランティア団体「サークル夢空間」のおはなしかい	7月28日(日)	33人
図書館貸し切り！バックヤードツアー&ゆったり読書※1)	7月30日(火)	26人
ぬいぐるみのおとまりかい※1)	8月4日(日)	30人※2)
図書館のおしごとを体験してみよう！司書体験・おはなしかい編	8月11日(日)	15人
本のお楽しみ袋～どんな本が入っているのかな？～	フェア期間	本館409冊 BM137冊
なにを読もうかな？図書館オリジナルガチャガチャ	フェア期間	景品777個

※1「バックヤードツアー」及び「ぬいぐるみのおとまりかい」は、サポーター協働

※2「ぬいぐるみのおとまりかい」の参加者数は、おはなしかいの参加者数

・令和6年度 米沢市小中学生読書感想画展

作品受付：11月1日(金)～15日(金) 出品数：377点

展示期間：12月4日(水)～8日(日) 観覧入場者数：1,890人

・読書通帳の発行：新規発行数236冊(再発行を除く。)2月から本のきろく通帳に切換

・ナセBAうちどくスタンプラリー 期間：11月～3月 参加者：122人

・ティーンズコーナーだより発行(3月)※米沢二中与連携

(2) 地域・学校との連携の推進

① 職業体験・図書館見学の受け入れ

職業体験や図書館見学、インターンシップ等で児童・生徒や学生を受け入れ、図書館の仕事や役割を体感してもらうことで、図書館の社会的役割の理解者を増やし、未来の来館者へとつなげた。

区分	人数等
YCW	米沢四中、六中、七中 合計6人

小学校見学	12校
職場体験	米沢養護学校高等部生徒「デュアル実習」8人

② アタゴオルの紹介と本の貸出体験 2件（米沢東部小、米沢万世小）

③ 学校及び子育て支援施設等への支援

学校や子育て支援施設等の依頼に応じて、テーマに添った読み聞かせやブックトークを行うとともに、教員や学校司書、子育て支援にかかわる方々に対しての研修支援や協力を行った。

・ブックトーク3件（米沢六郷小、米沢七中、九里学園高校）

区 分	期 日
米沢市小学校図書館研究部会 研修会	4月17日（水）
子育て支援センターぴっころ・絵本講座	5月29日（水）
学校司書研修会	6月5日（水）、8月30日（金）、 10月30日（金）、1月23日（木）
九里学園高等学校・読み聞かせ指導	11月8日（金）
プチハウス（乳児園）読み聞かせ	12月19日（木）
子育て支援センターなかよしの一む窪田・絵本講座	3月12日（水）

4 郷土資料を適切に保管し、次世代に伝える図書館づくり

（事業の方針）

- ・先人が残してきた貴重な郷土資料を適切に保存・管理し、デジタル情報への変換も推進しながら、地域の歴史や文化を次世代に伝える

4-1 置賜地域や上杉家に関する郷土資料の収集と保存

(1) 郷土資料の収集、調査研究の実施

市立米沢図書館資料収集方針に基づき、出身作家や上杉家の歴史も含めた置賜地方の郷土ゆかりの資料（図書、雑誌、古典籍、古文書等）を調査・収集し、郷土の歴史の編纂等を行った。

(2) 貴重資料（古典籍・古文書）の適切な保存・管理の推進

資料や設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進めるとともに、朝夕の温湿度管理や清掃を行い貴重書庫の環境保全に努めた。また、IPM（総合有害生物管理）活動を定着させ、館全体として収蔵・展示環境の向上を継続的に行った。

・毎月の定期清掃 ・定期的な温湿度、照度測定 ・粘着トラップの設置・空気環境調査

(3) 貴重資料の整理及びデジタル化の推進

① 貴重資料の整理・リスト化

受入資料の解読、調査、ラベリングを進めるほか、特に郷土資料中の古典籍・古文書類の未整理資料及び昨年度受入資料を積極的に整理した。また、未受入資料については、受入有無確認、クリーニング、整理、登録、ラベリング収納、写真撮影等の作業を進め、管理体制を整えた。

・未整理地域資料293点を整理

② 収蔵文化財総合データベースの充実

収蔵文化財総合データベースに搭載する資料のデータ整備を行った。

③ 劣化資料等のデジタル情報への変換

マイクロフィルム資料や地図資料等の劣化が進む資料のデジタル化を行い、長期の資料の保存

管理に資するとともに、利用者が利用しやすい環境を整備した。

対象	期間等
米沢新聞	昭和58年1月～平成7年12月
毎日新聞地方版	昭和19年1月～昭和22年12月
上杉文書（戊辰文書、勤書）	リールNo. 146～149、160～162、194～196
よねさは	大正9年1月～大正12年1月
週刊新米澤	大正14年12月～大正15年6月

4-2 郷土資料の活用の促進及び魅力の発信

(1) 図書館資料の活用（先人顕彰コーナー）

展 覧 会	会 期
コレクション展「海を越えて ～海外への視線～」	3月29日(金)～4月24日(水) [開催日数27日間]
企画展「大正の米沢大火と復興」	4月26日(金)～6月26日(水) [開催日数60日間]
企画展「図書館の直江兼続展」	6月28日(金)～8月21日(水) [開催日数55日間]
企画展「没後60年 高橋里美展」	8月23日(金)～10月23日(水) [開催日数60日間]
企画展「新聞報道で振り返る山形新幹線のあゆみ」	10月25日(金)～11月27日(水) [開催日数33日間]
写真パネル展「写真で見る米沢のむかし Part 7」	11月29日(金)～1月22日(水) [開催日数47日間]
企画展「貸出・掲載された市立米沢図書館の古典籍・古文書」	1月24日(金)～3月26日(水) [開催日数61日間]

(2) 郷土資料に関する情報の発信

収集した郷土資料や古典籍・古文書に関する内容や魅力を、ホームページやSNS等を通して積極的に発信した。また、頻度の高いレファレンスについてのパスファインダー（調べ方案内）を作成し、利用者が自分で資料にたどりつけるようなツールの整備を行った。

- ・レファレンス回答152件、郵送複写46件、パスファインダー整備数1件

よねざわ市民ギャラリー

1 芸術・文化活動の活性化

（事業の方針）

- ・様々な芸術作品等に親しむ機会が増え、市民等が潤いとゆとりを感じて心豊かに暮らせる
- ・若手芸術家をはじめとする個人や多様な活動主体による芸術文化の創作活動が、地域内で盛んになる

1-1 多様な文化・芸術活動の促進支援

(1) 気軽に芸術作品に触れられる機会の創出（自主事業）

市内の芸術文化団体等と連携しながら展示を行い、市民の芸術鑑賞の機会を広げた。

① 展示事業

展覧会	会 期	入場者数
「福王寺一彦 高野山金剛峯寺 襖絵第二回奉納記念～草木、蝶と蛭 つながるいのちのなかで～」	4月20日(土)～5月6日(月祝) [開催日数17日間]	1,608人
「高森務回顧展 ～こどもたちとふるさと米沢のために～」	8月3日(土)～8月22日(木) [開催日数20日間]	1,539人
「ARTS MEET OKITAMA 2025 & AMO2024 大賞展」	3月8日(土)～3月18日(火) [開催日数11日間]	1,499人

オープンギャラリー

第1期「椿貞雄の墨彩画」	4月18日(木)～7月24日(水)
第2期「高森務と米沢ゆかりの作家たち 福王寺法林・遠藤桑珠・黒澤梧郎・桜井祐一・後藤克芳」	7月26日(金)～10月23日(水)
第3期「椿貞雄と米沢の画家たち② 没後70年 志賀三郎」	10月25日(金)～1月22日(水)
第4期「椿貞雄と米沢の画家たち③ 生誕120年 高瀬捷三」	1月24日(金)～4月23日(水)

【関連事業】

展示	演題当	期日等	参加人数
福王寺一彦展	福王寺一彦氏によるギャラリートーク・公開制作	4月20日(土)、4月28日(日)、5月5日(日祝)	合計97人
	芸術の杜連携日本画ワークショップ	4月27日(日) (芸術の杜)	11人
高森務回顧展	米沢市児童会館合唱クラブオープニング合唱	8月3日(土) 10:00～	—
	記念講話・座談会	8月3日(土) 14:00～	59人
	青空クラブ人形劇公演	8月10日(土) 14:00～	37人
	オリジナルクリアファイルのプレゼント(富士印刷協賛)		60枚

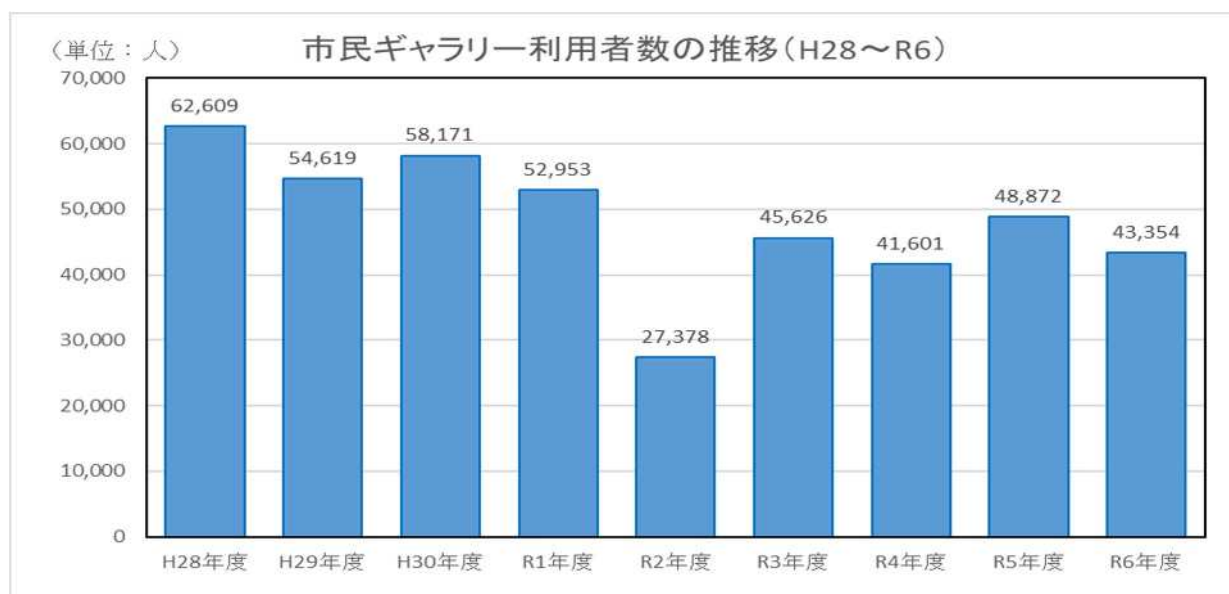
② ミニコンサート

ギャラリー展示室内でミニコンサートを開催した。

出 演	期 日	入場者数
「美術と音楽の夕べ」 福王寺一彦×福田直樹(ピアノ)	5月1日(水)	81人
「朗読と歌のコンサート」 びよんどYMF 大類雅子(ソプラノ)、板垣幸江(朗読)、田中ふみ子(伴奏)	8月17日(土)	51人
「ギャラリーコンサート～ギターと竹あかりと歌声広場～」 フォークソンググループ「はるかぜ」	3月22日(土)	137人

(2) 市民等の主体的な芸術活動の促進(貸館事業)

様々な分野の作品に合わせた展示ができる施設の機能を活かし、市民の多様な芸術文化活動の成果発表の場として、また、活気あふれる市民の芸術文化活動の拠点として施設を貸与し、米沢市や関係団体と密に連携しながら適正かつ円滑な管理運営に努めた。



連携と協働による事業の推進と適正な組織運営

1 市民や地域の力を繋ぎ活かした事業の推進

(事業の方針)

- ・市の文化及び観光交流の拠点である上杉文化エリア（伝国の杜周辺区域）内の施設・団体やまちづくりネットワークなどと連携して各施設周辺の賑わいと活力の創出に寄与する
- ・市民等の知識や経験を活かして各施設のサービスを充実する
- ・事業や施設の運営に多くの人々が関わり、協力してもらう
- ・利用者の声を広く集める仕組みを整え、利用者の声を反映した運営を行う
- ・各施設の機能の向上と発揮に努めながら、施設相互が連携して新たな発想や手法による事業を実施する

1-1 サポーター運営事業

市民の活力を取り入れた活発な事業運営を目指し、一般市民がそれぞれの興味・関心・得意分野を活かして当財団事業に参加することができるようボランティア活動の場を提供した。

伝国の杜と図書館それぞれに「伝国の杜サポーター」と「市立米沢図書館サポーター」による活動のほか、サポーター通信の発行、研修や勉強会等を実施した。

(1) 伝国の杜サポーター運営事業

米沢市上杉博物館の洛中洛外図案内人等の資料解説や教育普及活動、図書整理、置賜文化ホールの諸事業における客席案内、広報物発送補助等を行った。

サポーター登録者数	34人（新規8人、継続26人）
主な活動内容	インフォメーション、広報発送、レセプション、教育普及、図書整理、洛中洛外図案内、研修会

(2) 市立米沢図書館サポーター運営事業

図書修理のほか、毎月のおはなしかいでの読み聞かせ、ワークショップなどのイベントの補助、郷土資料の整理（マイクロフィルムのデジタル化）などの活動を行った。

サポーター登録者数	32人
主な活動内容	読み聞かせ、本の修理、マイクロスキニング

1-2 ファンクラブ運営事業（収益等事業3）

米沢市上杉博物館と置賜文化ホールの利用や財団事業への参加を通し、会員の興味・関心に応えるとともに、相互の親睦を図り、伝国の杜を支えるコアを育てた。

今年度も継続してPRと特典の充実の検討を行うなどにより、会員の定着を目指し、会員の募集を行った結果、目標を上回る335人（内訳：一般309人、学生18人、ジュニア8人）の登録があった。

1-3 関係機関等との連携の推進

(1) 米沢市歴史文化拠点地区内の諸団体等との連携の推進

上杉文化エリア懇話会や上杉文化施設協議会のほか、米沢四季のまつり実行委員会等と連携し、本市が誇る歴史、文化、観光の交流拠点である伝国の杜周辺地区の魅力向上と集客促進を図った。

上杉文化エリア関係	定例幹事会、松が岬公園菱門橋早期復旧要望活動ほか
上杉文化施設協議会関係	米沢観るパス（利用期間4月～11月） 利用人数944人 まちナビカード（道の駅米沢に設置） 利用人数608人
米沢四季のまつり関係	上杉まつり、秋まつりの各実行委員会への参画、関連催事の実施（企画展示）、広告掲載

2 公益財団法人としての適正な組織運営と安全安心で開かれた施設利用

（事業の方針）

- ・公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める
- ・内部評価や外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める
- ・事業の目的と方法の明確化及び職員間の共通理解を図り、業務の無駄を無くす
- ・利用者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む
- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をはじめとする危機管理体制を維持し、利用者や職員が安心して利用や事業参加ができる環境をつくる

2-1 収入の確保

(1) ショップ運営事業（収益等事業1）

財団運営及び事業展開の安定化の財源を確保するほか、利用者サービスの充実のため、米沢市上杉博物館のミュージアムショップ及びネットショップにおいて、博物館で編集・発行する展覧会図録をはじめ自主製作商品や受託商品の物品販売を行った。

新商品の開発	令和7年度発売予定「アクリルキーホルダー」各種、「松崎城堞図複製」
新商品の販売	「なせばなるボールペン」、「洛中洛外図ふせん」
新規図録の刊行	『上杉茂憲 最後の藩主と米沢士族』 『上杉氏と鷹と馬』 『椿貞雄と草土社の画家たち一草のささやき 土のかほりー』

2-2 施設の維持改修等

(1) 市と連携した修繕等の実施

指定管理を受けている施設について、管理者である米沢市との連絡を密にしながら施設や機器の修繕・更新等の計画を進めた。

(実績) ※軽微なものは省略

米沢市上杉博物館 置賜文化ホール	・屋外ベンチ設置 ・博物館ハンドリフト修繕 ・博物館常設展示室「体験火縄銃」ダンパー修繕 ・博物館常設展示室部分照明更新 ・博物館企画展示室ケース照明更新 ・博物館展示室照明コンサルティング
米沢市座の文化伝承館	・内庭手摺修繕
市立米沢図書館 よねざわ市民ギャラリー 米沢市まちなか駐車場	・図書館照明器具交換 ・図書館書架側板修理 ・ギャラリーサイコロ展示台クロス貼り替え ・ギャラリースライディングウォール点検

2-3 貸館施設等の利用の促進

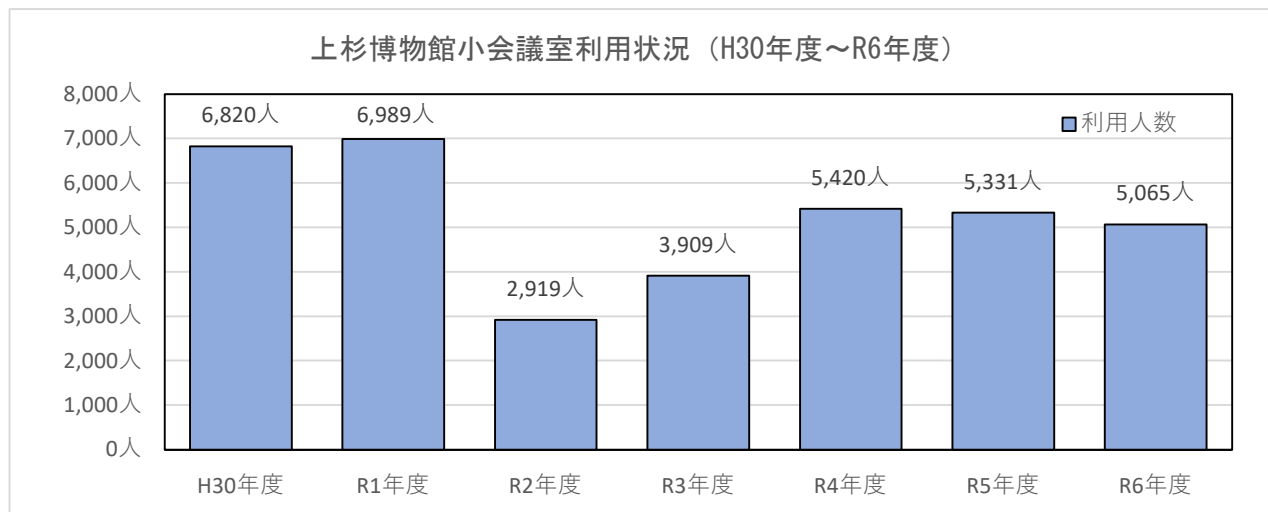
設置者である米沢市や山形県等と連携して貸館施設を含めた施設全体の利用促進に努めた。

(1) 情報発信の強化

広報物や出版物の発行、インターネットにおける情報発信等を実施し、施設の事業活動を協力者や市民に対して紹介し、施設の利用促進を促した。

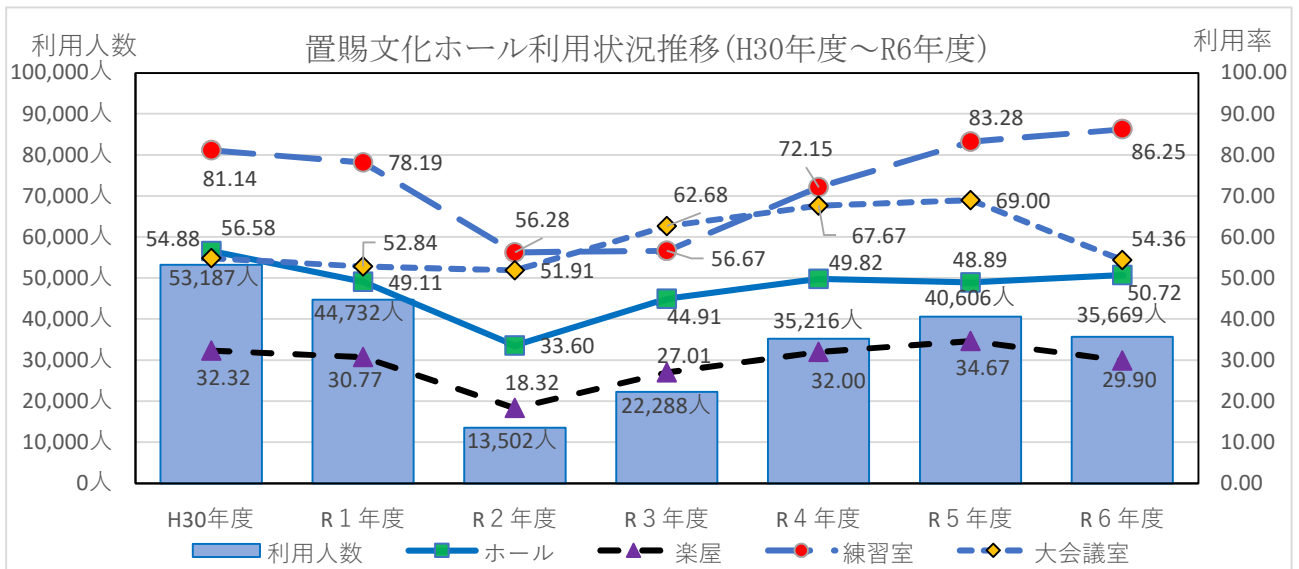
区分	博物館	ホール	図書館・ギャラリー
X	1 9 8	1 3 4	3 3 5
L I N E (米沢市)	4	2	1 9
雑誌等の有料広告	1 6	0	0
テレビCM	3	1	0
その他	8 0	Instagram、EventBank PR TIMES、あづま〜る 山形新聞チケット情報	Instagram、Facebook

① 米沢市上杉博物館会議室（収益等事業2）

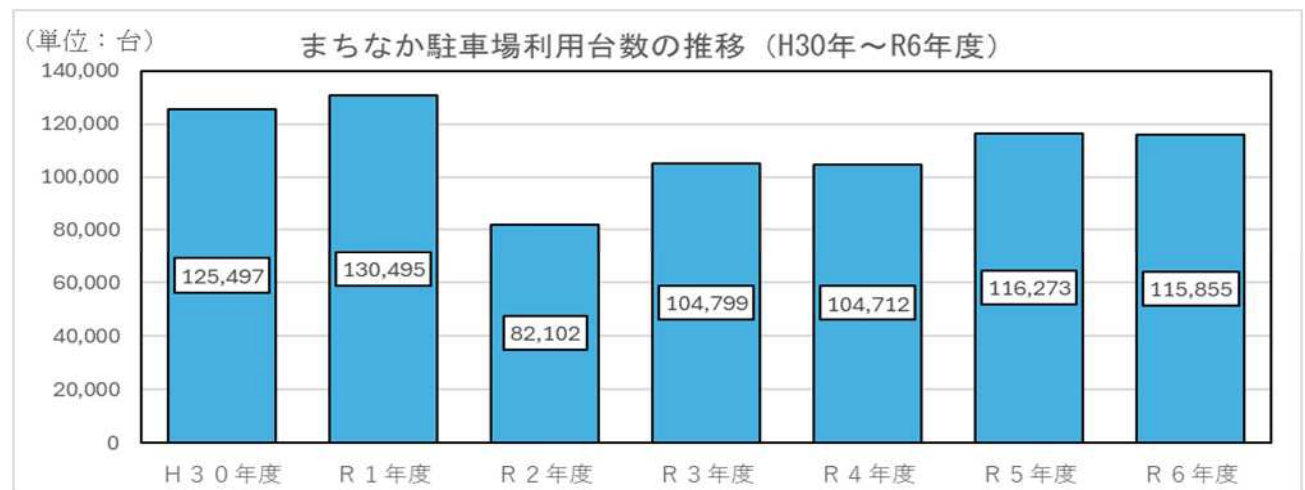


② 置賜文化ホール

前売券販売提携件数 1 2 件、販売枚数 4 8 3 枚（有料券のみ）



③ 米沢市まちなか駐車場



2-4 運営組織体制の維持・向上

(1) 法律等に基づいた適正な組織運営と情報公開による運営の透明化

① 役員会の開催

法に基づき理事会等を開催し、公益財団法人としての適正な運営に努めた。

区分	日時・場所・決議事項
通常理事会	日時・場所：令和6年5月28日(火)、伝国の杜 小会議室(2階) 報告事項：理事長及び常務理事の職務執行状況 決議事項：令和5年度事業報告及び附属明細書及び計算書類の承認 他5件
	日時・場所：令和7年3月26日(水)、伝国の杜 小会議室(2階) 報告事項：理事長及び常務理事の職務執行状況 決議事項：令和5年度事業計画の承認 他6件
臨時理事会	日時・場所：令和6年6月15日(土)、伝国の杜 小会議室(2階) 決議事項：理事長の選定
定時評議員会	日時・場所：令和6年6月15日(土)、伝国の杜 大会議室(2階) 報告事項：令和5年度事業報告 決議事項：令和5年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 他3件

② 情報公開の推進

経営状況等の情報公開を適正に行い、開かれた財団運営に務めた。

(2) 評価の実施

① 内部評価

年間の事業計画で掲げた目的や目標の達成状況について、K P I 指標を基に評価を行ったほか、博物館の企画展・特別展や置賜文化ホール等の事業について実施後に点検評価を行った。

② 外部評価

- ・博物館の展示及び置賜文化ホールの自主事業に対する来館者アンケートの実施
- ・伝国の杜運営協議会の開催（年2回）
- ・ナセBA運営協議会の開催（年2回）

(3) スタッフの育成

① 講習会・勉強会の開催、研修への派遣

新規採用者研修や職員の定期的な勉強会や研修会を実施するとともに、外部研修等へも積極的に派遣し、スタッフとしての知識の習得や技能の向上を図った。

(4) 全ての職員が働きやすい職場づくり

① 危機管理に関すること

- ・避難訓練の実施（年2回）

施設	実施日
伝国の杜	7月18日（木） 11月21日（木）
ナセBA	5月23日（木） 11月28日（木）
米沢市座の文化伝承館	8月7日（水） 11月13日（水）

- ・救命救急講習会等への派遣（19人）
- ・危機管理マニュアルの整備と内部周知
- ・情報セキュリティ研修会の開催 期日：1月27日（月）会場：大会議室 参加者：25人

② 職員の労働環境に関すること

「働き方改革」の施行に合わせて整備した財団諸規程を遵守し、また社会情勢の変化やワーク・ライフ・バランスの視点を踏まえながら、職員の適正な労働環境を整えた。